

2016年5月11日

教文委員 様  
支部教文事務局長 様

長野県高等学校教育文化会議  
議長 内堀 守  
事務局長 田村 敏彦

## 「特別支援教育」を考える総合研究会への参加について

新緑の季節、役員の皆様にはお忙しい毎日をお過ごしのことと思います。

さて、各校教文委員のみなさんおよび学校長宛にお届けした開催要項（別紙参照）の通り6月11日（土）に「特別支援教育を考える」総合研究会を開催いたします。

「特別支援教育を考える」総合研究会は今回で9回目を迎えます。長野県では、2015年度中学校の特別支援学級と養護学校中等部から高校への進学者は432名でした。高校現場では、その生徒たちへの指導や支援のあり方が大きな課題になっています。

荒川 智氏（茨城大学）の講演「インクルーシブ教育と合理的配慮」（仮題）や現場からの報告をもとに研究を深めたいと思います。

重要な課題でありますので、本研究会に支部および各学校からそれぞれ1名以上の参加をお願いします。高校教育課との確認メモにより、要項等で教文会議の名称を用いていませんので学校長の裁量により学校出張での参加が可能です。できるだけ学校出張での参加を追求してください。今回は、研究会の重要性を鑑み、支部代表、学校代表で参加される方で学校出張にならなかった場合は、教文会議の会計より旅費を支給いたします。お忙しいなかではありますが、積極的な参加をお願いします。

### 記

- 1 日程および会場 6月11日（土）10：30～15：30  
長野市 高校教育会館
- 2 参加要請 各学校1名  
学校長の裁量で出張参加が可能な研究会です。学校出張での参加を追求してください。学校出張にならない場合は、教文会議より支給します。ただし後日支払となりますことをご了承ください。特別支援教育コーディネーター、発達障害を持つ生徒の担任、養護、生活指導担当の先生など多くのみなさんの参加を期待します。積極的な呼びかけをお願いします。
- 3 参加者の報告について  
教文委員は校内の参加希望者を取りまとめていただき、裏面の参加申込書にて参加者を事前にお知らせください。
- 4 アンケートのお願い  
今回の総合研究会実施にあたって、各校の状況を把握したいと考え、アンケートを実施します。同封の用紙にご記入いただき、5月18日（水）までに教文事務局（FAX：026-234-2219）までお送りください。  
結果については、総合研究会で話題にしたいと考えています。ご協力をお願いします。

「特別支援教育」総合研究会 参加申込

学校名

---

参加者名

---

参加者名

---

参加者名

---

FAX 026-234-2219 までお送りください

発信元 長野県高等学校教育文化会議  
〒380-8790 長野市県町 593  
TEL 026-234-2216  
FAX 026-234-2219  
担当者 田村・河西  
E.Mail [kyobun.nagano-h@zenkyo.org](mailto:kyobun.nagano-h@zenkyo.org)